

平成26年度 高平小学校 学校図書館支援活動記録



南相馬市立中央図書館
学校図書館支援員 今野 敦子

1 学校の概要

(1) 担当学校の紹介

本校は、東日本大震災と原発事故の影響により、現在も県内外に約25%の児童が避難をしているため（平成26年4月1日時点）、全学年各1クラスと特別支援学級1クラスの計7クラスの構成となっている。

図書室は0～9類の図書がある第一図書室と、絵本があり読み聞かせを行う第二図書室があり、2つの図書室とも2階に設置してある。

図書室は、児童の調べ学習等でよく利用されている。

学校図書館支援員の活動を担当して、2年目である。

平成26年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
23名	20名	23名	17名	17名	14名	114名

(平成26年5月末時点)

学校派遣日数 木・金曜日 週2回

図書担当教員 講師 岡和田佳子

学校図書館蔵書数（4月当初） 10,277冊

学校図書館受入冊数（3月末時点） 466冊

うち 市費購入冊数及び金額 119冊（224,181円）

寄贈資料点数 283点

2 本年度の課題

(1) 読書習慣の定着化

昨年度まで個人貸出については、3学年から開始だったこともあり、図書室から図書を借りて読書するという習慣があまり身につけていなかった。読書習慣の定着化を図るため、年度初めの読書指導に力を入れ、児童が繰り返し図書室に足を運びたくするような環境づくりや働きかけに努める。

(2) 図書の計画的な除架・除籍

学校図書館支援活動が開始される前までは、ほとんど除籍をした形跡が見られなかった。そのため書架に古い図書が数多く残っており、昨年度は主に除架作業に時間を費やした。本年度は引き続き、除架・除籍作業に取り組み、児童が目的の資料を探しやすい書架づくりを目指す。

3 活動の方針

- ・ 図書担当教員と話し合った結果、貸出は、全学級ごとにオリエンテーションを行ってから開始する（貸出開始：2～6年は5月から、1年は9月）。
- ・ 読み聞かせは、毎月1回昼休み1・2年向けに行い、3年以上は授業の中で行う機会を設ける。
※昼休みの読み聞かせは、全学年参加可能で、特に高学年には読み聞かせの仕方も学びに来てもらう。
- ・ 学校長の提案により、新しい新聞は、図書室新聞ラックにはさみ、過去の新聞は、各学年1週間持ち回りの「移動新聞」として学級に置き、朝の読書タイムなどに読んでもらう。また、第二図書室前廊下に今日と昨日の新聞コーナーを作り、一目で記事が見え、児童の興味関心を引くようにする。（4～6年が登校後必ず通る場所に設置）。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	図書委員会活動内容	市立図書館との連携
----	----------------	-----------	-----------

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・予算検討と管理の確認 ・担当教員との打合せ ・オリエンテーション(2～6年) ・除架・除籍作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会組織作り ①図書の貸出 ②図書の整理 ③図書の返却 ④学級文庫の整理 ⑤図書利用の調査 ・前期活動計画作成 ・図書室準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の借用開始 ・第1回学校支援会議(4/17) ・杉並文庫選書(4月～6/30)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画コーナー「こどもの日」 ・企画コーナー「母の日」 ・昼休み読み聞かせ開始 ・除架・除籍作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級文庫の整理 ・図書室閲覧開始 ・図書室案内 ・図書室外貸出の開始(2年～6年) ・1、2年への読み聞かせ開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回学校支援会議(5/15)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画コーナー「梅雨」 ・課題図書を受入、コーナー設置 ・除架・除籍作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊図書の受け入れと配架 ・新刊図書の紹介 ・ポスター作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回学校支援会議(6/19)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・児童参加型壁面飾り<七夕> ・企画コーナー「夏本」 ・除架・除籍作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題図書の紹介 ・夏休み貸出の計画 ・貸出準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並文庫選書児童担当チェック(7/1～8/15) ・学校図書費購入図書選書(7/1～8/30)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・除架・除籍作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並文庫選書最終チェック、発注(8/1～9/30)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画コーナー「秋本」 ・オリエンテーション(1年) ・除架・除籍作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年貸出開始 ・学級文庫の整理 ・前期活動の反省 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書費購入図書選書児童担当チェック(9/1～9/30) ・学校図書費購入図書選書最終チェック、発注(9/30～10/30)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画コーナー「ハロウィン」 ・除架・除籍作業 ・杉並文庫受入開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期活動計画作成 ・学級文庫の入れ替え 	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並文庫納品開始(10月から) ・第4回学校支援会議(10/16) ・小・中学校図書館見学会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画コーナー「学習発表会」 ・除架・除籍作業 ・学校図書費購入図書受入開始 		<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書費購入図書納品開始(11月中)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画コーナー「クリスマス」 ・児童参加型壁面飾り<クリスマス>・クリスマスプレゼント ・除架・除籍作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用状況調査 ・冬休み貸出の計画 ・貸出準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回学校支援会議(12/18)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画コーナー「お正月」 ・お正月プレゼント ・除架・除籍作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級文庫の整理 ・図書整理 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画コーナー「節分」 ・企画コーナー「バレンタインデー」 ・除架・除籍作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書整理 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画コーナー「ひなまつり」 ・卒業生へのプレゼント ・除架・除籍作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期活動の反省 ・図書館閉館 	

4 本年度の主な活動内容

(1) 1年間の目標

- ・「常に読みかけの本が手元にある環境に」
- ・年間1人50冊目標(一週間に1冊×4週間＝1ヶ月に4、5冊)

(2) 1年間の活動記録

4月

① 第二図書室黒板掲示「ご入学おめでとう」

桜や蝶々、てんとう虫などの切り絵を散りばめて、春らしい印象を与え、はりねずみの足元には、画用紙でつくったランドセルを飾り、祝入学をイメージさせ、新入生を迎える飾り付けとした。(写真1)

② 市立図書館より図書の借用

【クラスカード貸出】

授業用 5年総合学習「野菜の育て方」 10冊



写真1

壁面飾りは、裏にマグネットシートを貼り、取り外しを可能にしている。ランドセルは、開けることができ、児童から人気があった。

③ お知らせ表示「雑誌と新聞が入りました」の設置

※雑誌は5月から受入となったため、雑誌のところには「COMING SOON」と表示。

④ 図書館オリエンテーション（2年、4年、5年、6年、特別支援学級）

- ・2年国語科「としょかんへいこう」、4・6年国語科「図書館へ行こう」と関連。
- ・昼休みや授業の時間を使い、各学年に合わせて、図書の分類の説明、図書の借り方・返し方、今年度初受入の新聞と雑誌の紹介、図書の取り扱い方、絵本の読み聞かせを行った。

※2学年は、担任の先生の意向で保護者にも図書館教育について知ってもらおう意図で、授業参観日に実施した。

⑤ 看板「としょかんへようこそ」の設置

廊下に下がっていた古い図書コーナーの看板の上に、「としょかんへようこそ」の看板を貼った。（写真2，3）



写真2

<改善前>
今は存在しない
図書コーナー。

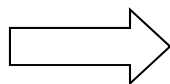


写真3

<改善後>
遠くからでも図
書館の存在をア
ピール。明るい印
象に。

⑥ 企画コーナー「端午の節句」

日本のお城とかぶとの切り絵を飾り、こいのぼり等「端午の節句」について載っている図書を展示した。

- ・図書の除架・除籍
- ・寄贈本の受入

5月

① 図書館オリエンテーション（3年）

特別活動「図書室のきまり」との関連。

② 図書の貸出開始（2年～6年）

③ 図書室利用の調べ学習

4年社会科「まちを守っているお仕事」について調べるため、図書室を利用する際、児童の求める資料が載っている図書を紹介した。

④ 市立図書館より図書の借用

【クラスカード貸出】

授業用 4年社会科「くらしを守る」で使用する「まちを守っている仕事」の本 6冊

読書用 4年国語科の教科書掲載図書 12冊

【学校カード貸出】

読み聞かせ用 図書委員が読み聞かせで使用 紙芝居2点・ぬいぐるみ1点

⑤ 9類「ものがたり」ジャンル分け表示の設置

「ものがたり」をSF・中国文学・少女小説・こわい話などにジャンルに分けて配架し、書架表示を設置した。ジャンル分けしないものは、そのまま著者名の五十音順に配架した。

⑥ 企画コーナー「母の日」

お母さんが出てくる絵本等を展示した。

⑦ パネル「ほんをよもう」の設置

【ねらい】「本を読もう」という意欲を高め、
進んで読書ができる
ようにする。

- ・9類文学の書架の上段にパネルを設置した。
明るい色を選ぶことで、自然と目が向くよう
にした。(写真4)

⑧ 雑誌コーナーの設置

昨年度先生方からのリクエストをまとめた
結果、「週刊そーなんだ！歴史編」や「子供の科
学」など、楽しみながら知識を得られるものや
「こどものとも」などの低学年がおはなしの世
界を味わうことができるものなど、9種を購入した。

今年度は貸出をせず、図書室に来て自由に読んでもらうスタイルをとったが、あまり利用さ
れていないことがわかり、図書担当教員の提案により、1月からは各クラスに貸出することにな
った(図書委員が雑誌を用意し、各クラスに届ける)。

また、1階1年教室前廊下や2階図書室前廊下に「移
動図書館コーナー」を設置し、雑誌や新聞、季節の本、
授業で活用してほしいタイアップの本をさりげなく置き、
子どもの気づきの材料となるようにした。

写真5

表紙を見せて配架した。雑誌棚の
前にいすを並べ、雑誌を選んだら、
すぐその場で読めるようにした。

⑨ マグネット式図書館カレンダーの設置

図書を借りた日と図書を返す日付がわかるマグネット
付きの図書館カレンダーを作り、カウンター後ろの黒板
に設置した。お菓子の家をイメージして作り、楽しい雰
囲気を出せるようにした。(写真6)

写真6

図書館カレンダーの横には、図書委員をイメ
ージしたミツバチを貼り、下には、図書担当教
員が作成した図書委員の貸出当番表を貼った。

⑨ 図書の除架・除籍、寄贈本の受入

6月

- ① 課題図書の受入 28冊
- ② 杉並文庫・学校図書費購入図書の選書

図書担当教員と話合った結果、担任・担当の先生からのリクエストを基本にしながらも蔵
書状況や分類のバランスを考えて選書した。

※冊数や種類については、受入のところで説明する。

③ 本日の貸出冊数分かる学年別「かしの木」の設置

【ねらい】児童が楽しみながら図書を借りることができるようにする。

- ・カウンター後ろの黒板に学年別の「木」を設置し、借りた児童本人が貸出1冊につき1個
の「お菓子のカード」を貼ることとした。
- ・図書委員もしくは図書館支援員が貸出冊数の1位・2位・3位の学年に、金・銀・銅の王
冠を付けた。

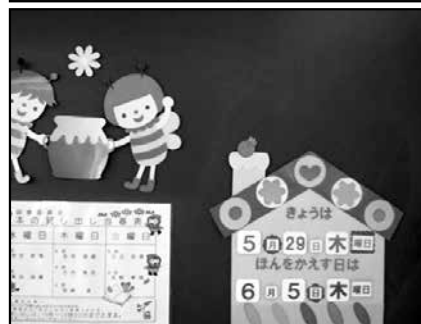
【工夫した点】

「貸し出し」と「お菓子」の「かし」をかけることでおもしろさをプラス。学年ごとにお
菓子の種類を変えることで、見た目を分かり易くするとともに、カウンター周りに明るい印



写真4

パネル6枚とも違う色を選ぶことで、明る
く、書架に楽しい雰囲気が出た。



象が出るようにした。王冠を付ける行為で毎回ワクワク感を演出した。(写真7, 8)

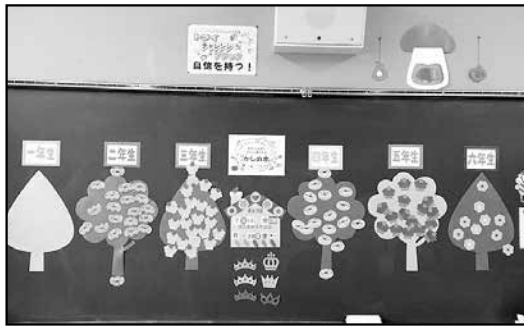


写真7

毎回児童たちは、自分の学年が何位になるか気になるようで、お菓子の数をよく数えていた。(1年生は2学期から貸出)



写真8

児童はここから自分の学年のお菓子カード(クッキー、ドーナツ、カップケーキ、イチゴケーキ)を取り出し、貼りつける。

④ 読み聞かせ(1年)

1年生に図書室について知ってもらうため、図書室で授業時間を使い、手遊びや絵本の読み聞かせを行った。

⑤ ぼくのわたしのおすすめ本 《前期図書委員》

【ねらい】読書の感想をまとめて、発表することができるようにする。

前期図書委員におすすめの本の紹介カードを書いてもらい、本と一緒に展示した。一か所に集めず、図書室内外のいろんな場所に置いた。(写真9)



写真9

紹介カードは支援員が作成し、そこに図書委員が記入。色画用紙のスタンドは、図書担当教員が作成した。

⑥ 雑誌、寄贈本の受入、図書の除架・除籍

7月

① 読み聞かせ(昼休み)の開始

月1回昼休みに低学年向けの読み聞かせを実施。毎回手遊びから始め、季節に合った絵本や紙芝居は、必ず入れるようにした。

② フロアマットの設置

第二図書室の絵本コーナーの畳が古くなっていたため、学校側に依頼してフロアマットを購入し差し替えたら、明るく利用しやすい場所になった。(写真10, 11)



写真10

古い畳の表面が荒れた状態。



写真11

マットの上でファイルに記入する児童たち。

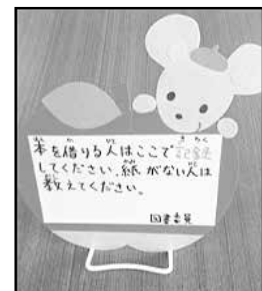
③ プレゼント<星に願い事を書こう>

【ねらい】季節の行事に触れることができるようにする。

昼休み来館児童に「星型カード」に願い事を書いてもらい、フィルムコートをかけ、ひもに星型ビーズをつけて通し、プレゼントした。

写真12

できるだけ児童が作ったものを飾るように心がけている。



星型カードを図書室内に飾りたかったが、期間が短かったため、直接プレゼントすることとなった。もらった児童は、とても喜んでいた。

④ 中央図書館より図書の借用

【クラスカード貸出】

【読書用】 5年国語の教科書掲載図書

⑤ 図書貸出ファイルへの記入のお願い作り

【ねらい】学校における図書室の役割を理解し、積極的に図書室の仕事に協力できるようにする。

(図書館運営全体計画 5、6学年努力点より)

枠は支援員が作り、文章は図書委員が考え、手書きした。

(写真12, 13)

写真13

貸出ファイルに記入する児童の様子



⑥ 第二図書室黒板掲示 「星座カード」

星の切り絵と一緒に、金と銀の画用紙で作った「星座カード」を貼り、横に雑誌付録の星座ポスターを合わせて貼った。季節感を出すとともに、「何座かな？」など児童に話しかけるきっかけにもなった。

⑦ 分類表の設置

昨年度設置した書架表示と色を合わせることで、児童が理解しやすいようにした。(写真14)

⑧ 雑誌、寄贈本の受入、図書の除架・除籍

8月

① 日焼けした背表紙にテプラでタイトル貼り

② 図書の修理

③ 杉並文庫の受入 188冊

昨年度は、杉並区の著名人に関連した図書と9類・絵本という選書支援を行ったが、今年度は先生方のリクエストを参考にしながら、蔵書状況を考慮し、0～7・9類、絵本をバランス良く購入した。

④ 雑誌、寄贈本の受入、図書の除架・除籍

9月

① 新聞記事の紹介 ～気になる記事見つけたよ～

【ねらい】自主的に新聞の閲覧ができるようにする。第二図書室の掲示板に、新聞の記事を掲示するコーナーを作った。(写真15)

写真15

「気になる」と「木になる」をかけて、木の切り絵に、英字新聞柄の折紙で作った葉や木の葉の折り紙を貼った。

図書担当教員が今日と昨日の新聞に分け、説明等の表示を作っていた。



② 杉並文庫の設置

昨年の杉並文庫を横の書架に移動し、空いた書架に今年度受入分を配架した。杉並区からいただいた公式キャラクター「なみすけ」と「ナミー」のカードを飾り、中央図書館サポート職員手作りのイーゼルを使い、おすすめの図書を紹介した。(写真16)

写真16

児童が大好きなくじ引きの形をとったことで、低学年だけでなく高学年の児童も引ききたくなる、大人気のおたすけナミー。ラッキーアイテムをチェックする様子が楽しそうであった。



③ 本選びのお助け箱、おたすけナミー

表側に杉並文庫の書名と著者名、裏側に杉並区公式キャラクター「ナミー」の好物「いちご」を基にしたラッキーアイテムを載せた「おたすけカード」を箱に入れ、何を讀んで良いか分からない児童に引いてもらい、本選びの助けになるようにした。(写真16)

【ねらい】

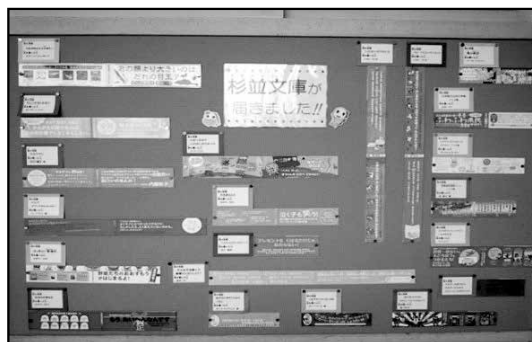
杉並区について知り、杉並文庫を讀むことで、杉並区への感謝の気持ちを持たせるようにする。

④ 杉並文庫の紹介 ～帯の活用～

絵本等、装丁上、見返し(遊び)部分に貼ることができない帯を第二図書室前廊下の掲示板に、書名・著者名を載せたカードとともに掲示し、杉並文庫の一部として紹介した。(写真17)

写真17

掲示を見て、「この本を借りたい」という子どもがいたことから、興味を示してくれたようだ。



⑤ 読み聞かせ(2年)

- ・2年国語科「神話や民話に親しむ」との関連。
- ・授業時間を使い、高平地区の民話(紙芝居)「泉長者」などの読み聞かせをした後、中央図書館から借用した民話・神話の絵本を各自読む時間とした。

⑥ 企画コーナー「ハロウィンと秋」

- ・かぼちゃの立体飾りを飾り、魔女やおばけが出てくる絵本等を展示した。
- ・書架下段には、秋を感じる図書を展示した。

⑦ ワークショップ「ハロウィン立体飾り」作り

【ねらい】図書を活用し、季節が感じられる作品を作ることができるようにする。

昼休みに来館した児童にハロウィンで飾るかぼちゃの立体飾りの作り方を教えた。この飾りの作り方が載っている切り絵の本やハロウィンの絵本をテーブルに置き、図書とのつながりも大切にした。(写真18)



写真18

かぼちゃの下書きと目・鼻・口は、こちらで準備しておいた。

⑧ 図書館オリエンテーション(1年)

- ・学活「本はともだち」との関連。
- ・図書室には大きく分けると、知識の本と文学の本があることを説明。
- ・本を讀むと、「知識の実」と「感動の実」がなるということを話し、黒板に貼った木に、折紙で作ったりんごを貼って見せた。
- ・本の借り方・返し方を説明した後、児童は一人1冊ずつ借りた。

⑨ 読み聞かせ(昼休み)

⑩ 雑誌の受入、図書の除架・除籍

10月

① 図書委員会企画による「絵本総選挙」の開催

【ねらい】イベントの参加を機に、活発に読書活動ができるようにする。

- ・投票用紙に自分が好きな絵本を記入し、投票箱に入れる(投票用紙、投票箱、お知らせのポスター等は、図書担当教員と図書委員が担当)。
- ・1冊借りると投票用紙が1枚配付され、借りるたびに何度でも投票することができる。
- ・廊下に、小さい頃みんなが讀んだような定番の絵本を展示し、絵本選びの参考にしてもらった。(学校カードで中央図書館から10冊借用)

・投票結果は、図書担当教員がまとめ、第二図書室の黒板に掲示し、投票された上位の絵本を展示した。

② 図書委員への読み聞かせ指導

図書担当教員の意向により、図書委員会活動に参加し、絵本の持ち方・ページのめくり方・声の大きさ・目線等、読み聞かせの基本的な方法をアドバイスした。図書委員が月1回朝の読書タイム時に、1～3年教室で行っている読み聞かせに活かすことができた(写真19, 20)



写真19 読み聞かせ指導の様子

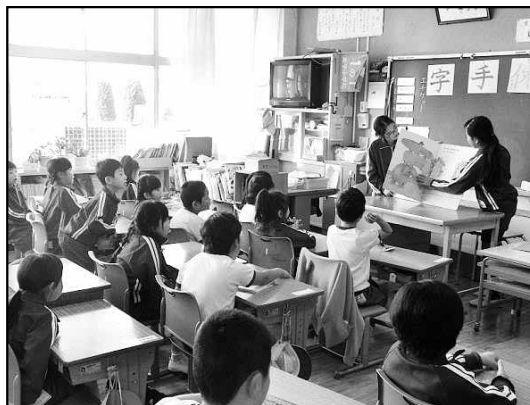


写真20 指導後の読み聞かせの様子

③ 新聞の整理

「移動新聞」として、各クラスをまわっていたが、その後ボックスに入った状態になっていた新聞を月別にまとめ、第二図書室後ろの棚に置くようにした。

④ 中央図書館見学(2年 生活科)

「図書館の図書を貸すだけでなく、他の役割を知ろう」という観点での見学の依頼から、複合施設としての役割も含めて、クラフトルーム、天空のテラス、マルチメディアホール、おはなしの蔵の4つにスポットを当てて、説明を行った。

※雨天のため、天空のテラスには行けなかったため、代わりに、マルチメディアホールで特別に映画の上映をしてもらい、とても喜ばれた。

後日、図書館へ児童から図書館見学に対するお礼の手紙が届いた。

⑤ 読み聞かせ(昼休み)

⑥ 雑誌、寄贈本の受入、図書の除架・除籍

11月～12月

① ぼくのわたしのおすすめ本 《後期図書委員》

後期図書委員におすすめの本の紹介カードを書いてもらい、本と一緒に展示した。

② 勝手にタイアップ ～学校の授業や行事に合わせて特集を組むこと～

放射線教室で第二図書室を利用する日に合わせて、廊下に放射線関係の本やノーベル賞関連の本を展示した。(図書担当教員から依頼あり)

③ 児童参加型壁面飾り <クリスマスツリー>

【ねらい】壁面飾りに児童を参加させることで、「みんなの図書館」という意識を高めることができるようにする。

・昼休みや放課後、来館した児童に、折紙で作った「ツリー」に絵を描いてもらい、裏にマグネットシートを貼って、第二図書室の黒板に貼り合わせ、大きなクリスマスツリーを作った。(写真21)

写真21

雑誌「おりがみ」に掲載されていたものを作った。折りたいという児童には、雑誌を活用しながら、折紙指導も行った。



・2学期終了直前に、それぞれのツリーの頭に折紙で作った星を付けて、絵を描いた児童にプレゼントをしたところ、大変喜ばれた。

④ 企画コーナー「クリスマス」

(写真22)

⑤ プレゼントの提供 <クリスマスオーナメント>

【ねらい】来館意欲を高めることができるようにする。

図書を借りた児童に、切り絵で作った「サンタクロース」「ツリー」「くつした」のクリスマスオーナメントをプレゼントした。

(写真23)

写真22

切り絵で作ったクリスマスツリーの看板を設置し、折紙で作ったツリーと一緒にクリスマスの本を飾った。

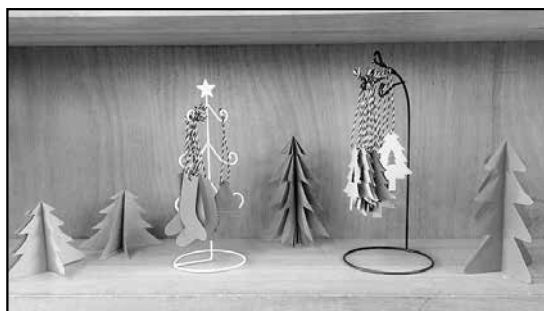


写真23

クリスマスツリーに飾るだけでなく、壁に飾ったり、ひもを活かして本のしおりにしたり、活用の仕方は児童に任せた。

⑥ 市費購入図書の受入 115冊

新たに先生方からリクエストがあった低学年向きの昆虫の観察の本や野菜の育て方の本などを中心に購入した。

⑦ 読み聞かせ(2年)

- ・2年国語科「日本の言の葉 おばあちゃんにきいたよ」との関連。
- ・授業時間を使い、春の七草・干支・いろはうた・小の月などについて、黒板を使って簡単な説明をしたり、絵本の読み聞かせをしたりした。

⑧ 見出し板(4類 自然科学)の設置

児童が図書を探しやすくするために、イラストを入れて、児童にとって分かりやすい見出し板を作った。設置後、児童の図書返却がスムーズになった。(写真24)

- ・読み聞かせ(昼休み)
- ・雑誌の受入
- ・新聞の受入

写真24

A4用紙にプリントしたものを板目表紙に貼り、フィルムコートをかけ、角は丸くカットした。



1月

① としょかん☆分類お守り

【ねらい】楽しみながら分類の知識を身につけることができるようにする。

図書の分類と学校の教科を合わせたミニブック入りのお守りを、本を借りた児童に1つプレゼントした。折り紙で50個作成。15個追加作成。

(写真25)

写真25

児童にはその場で開いてもらい、説明ボードを見せながら、結果を伝える。○類にはどんな本があるのかという説明も加えた。



例えば「7類芸術」のミニブックが入っていたら、今年は『図工・音楽・体育』の成績がアップするかも」というように、分類と教科を結びつけ、楽しみながら分類についても学べるようにした。数量限定で、「全教科成績アップ」のマルチブックを入れ、喜びを高めることができた。

- ② 壁面飾り <おせち料理>
おせち料理の切り絵とお品書きを貼り、お正月の雰囲気を出した。
(写真26)



写真26

児童にどのおせち料理を食べたか聞くなど、児童と話すきっかけ作りにもなった。

- ③ 雑誌の受入、新聞の受入

2月～3月

- ① 勝手にタイアップ <「子どもたちに笑顔を！」プロジェクト>

外部講師を招いたバレー教室・食育教室に合わせて、バレーボールに関する本、料理本や料理が出てくる絵本などを中央図書館からの借用本も交えて展示した。折り紙で作ったケーキやフォークを飾り、思わず手に取りたくなるように演出した。



- ② PTA図書費購入本の選書・受入 42冊

先生からのリクエストで職業に関する本や生物の図鑑、児童の声を参考にお菓子作りの本などを入れた。

- ③ 杉並区立図書館より出版社童話屋からの寄贈本の受入 30冊

写真27

今回の寄贈本以外の本も合わせて展示し、普段あまり借りられない詩の本に目が行くようにした。

詩の本が多かったため、第一図書室前廊下に「詩をよもう」コーナーを設けて、展示した。第二図書室前廊下掲示板には、リストを掲示し知らせた。(写真27)

- ④ 寄贈図書カード購入図書の選書 17冊

- ⑤ 企画展示「追悼 松谷みよ子」

2月28日に亡くなった作家松谷みよ子の追悼企画として、作家の紹介と物語や昔話絵本の展示を行った。(写真28)

写真28

図書担当教員作成のフェルトの木やオブジェを一緒に飾ることで、やさしい雰囲気を出すことができた。



- ⑥ 6年生へ卒業記念のしおりのプレゼント

・「ムーミン谷の夏まつり」のスナフキンの言葉を掲載して卒業生への贈る言葉とし、片面には学校名と卒業の日を明記して記念となるようにした。

・6年教室で言葉の意味を説明した後、児童一人一人と担任の先生に「卒業おめでとうございます」の言葉とともに手渡し、とても喜ばれた。(写真29)



写真29

新しい世界へ飛び立つ児童をイメージして、鳥と旅行鞆の切り絵を貼った。

- ⑦ 雑誌の受入、新聞の受入

5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・杉並文庫の選書アドバイス（本の分類確認）および発注処理
- ・市図書費の選書アドバイス（本の分類確認）および発注処理

6 学校図書館利用実績

(1) 年間貸出冊数

① 個人貸出冊数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	月合計	一人当たり
4月	—	39	—	(4)	—	(8)	51	2.21
5月	—	80	90	41	59	0	270	2.96
6月	—	69	17	39	43	4	172	1.89
7月	—	69	70	47	69	45	300	3.29
8月	—	15	0	17	14	3	49	0.53
9月	24	75	74	33	48	21	275	2.41
10月	103	85	75	68	48	27	406	3.56
11月	75	67	60	41	41	34	318	2.78
12月	72	74	82	65	52	52	397	3.48
1月	62	63	44	43	14	15	241	2.11
2月	77	63	46	38	33	8	265	2.32
3月	39	37	20	35	25	5	161	1.41
学年合計	452	736	578	471	445	222	2905	25.5

※1 一人1冊1週間の貸出（9月から一人2冊1週間の貸出）。

※2 夏休み・冬休み貸出は一人3冊まで貸出可。

※3 4月は2年と支援学級（2年1名・4年1名・6年2名）のみ貸出のため、1人当たりの計算は23名で行った。

※4 1年は9月25日から貸出。

② 学級文庫貸出冊数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援学級	月合計	1クラス当たり
4月	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5月	0	0	0	65	0	0	16	81	11.5
6月	0	0	0	0	0	0	5	5	0.71
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	43	0	0	0	4	47	6.71
9月	19	0	0	0	0	0	11	30	4.28
10月	21	19	43	0	0	0	0	83	11.8
11月	0	0	46	0	0	0	0	46	6.57
12月	0	0	46	0	0	0	1	47	6.71
1月	0	0	42	7	0	0	16	65	9.28
2月	0	0	46	18	0	0	0	64	9.28
3月	0	0	42	0	0	0	0	42	6
学年合計	40	19	308	90	0	0	53	510	72.85

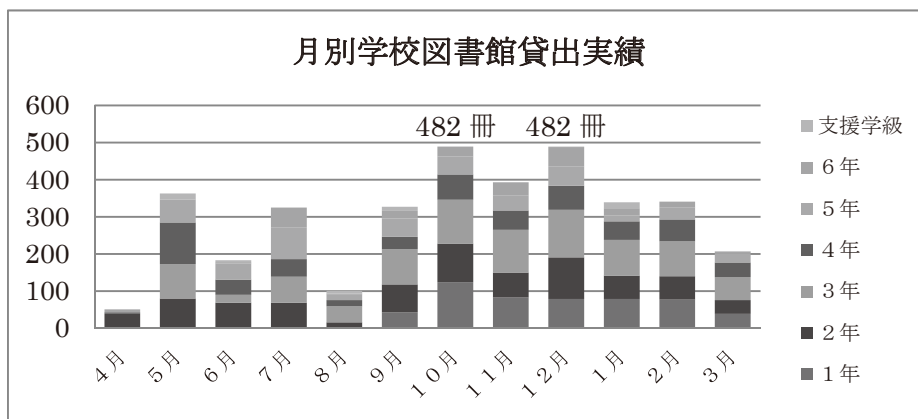
③ 調べ学習等貸出冊数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	月合計	1学年当たり
4月	—	—	—	—	—	—	—	—
5月	0	0	3	6	3	0	12	1.71
6月	0	0	4	2	0	0	6	0.85
7月	0	0	0	0	17	8	25	3.57
8月	0	1	0	0	0	0	5	0.71
9月	0	0	21	0	1	0	22	3.14
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	8	0	9	11	0	1	29	4.14

12月	7	38	0	0	0	0	45	6.42
1月	17	0	10	0	2	4	33	5.5
2月	0	0	2	3	0	7	12	2
3月	0	0	0	4	0	0	4	0.66
学年合計	32	39	49	26	23	20	189	31.5

(2) 学校図書館利用実績

個人貸出冊数、学級文庫貸出冊数、調べ学習等貸出冊数を足したものの。



平成26年度月別来館者数

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男子 (58名)	210	121	85	47	151	232	125	102	123	137	101	1434
女子 (56名)	210	146	103	42	172	243	171	128	171	190	122	1698
月合計 (114名)	420	267	188	89	323	475	296	230	294	327	223	3132

※1 開館日(水・木・金曜日)の休み時間・昼休みの来館者数

※2 授業で来館した場合は含まない。

※3 来館したら、「としよしつの木」に男女別のりんごを貼るというシステムで集計。貼るのは、一日1個まで。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

- ・学校図書館支援員同士や中央図書館サポート職員との連携を図りながら、パソコンでの作成物、工作物、新しい情報等を提供し合うことで、お互いの支援活動を高め合うことができた。
- ・来館した児童にどんな本が読みたいかを積極的に聞き、図書室に所蔵がない場合は、中央図書館から借用して貸し出すことで、児童のリクエストに応え、読書する機会を増やすことができた。
- ・貸出・返却の受付時間を支援員来校日のみ、基本10時～15時30分としたことで、利用時間にゆとりが生まれ、利用者が増加した。
- ・全学年別に図書館オリエンテーションを行ったことで、図書室の利用や読書の大切さを学ぶことができ、図書室利用・読書習慣が定着した児童が増えた。
- ・図書担当教員との連絡を密にし、協力をいただくことで、新しい企画に積極的に取り組んだり、児童の実態に即して対応したりすることができた。

(2) 来年度に向けた課題

- ・学級文庫の入れ替えがされていない学級があったので、月に1回、担任の先生が引率をし、児童が学級文庫を選びに来る時間を設けるなどの提案を図書担当教員と連携を取り

ながら、繰り返し行うことによって、学級文庫の充実を図っていきたい。

- 図書室から図書を持ち出す際は、用紙に冊数を記入することになっていたが、その記入の周知徹底が不十分で、調べ学習等の正確な冊数が不明確であった。実際、担任・担当の教員からすると、記入しにくい状況であるとのことから、次年度は、案として、図書室入口にホワイトボードを設置して用紙を貼ることで、手軽に記入ができるよう工夫することが考えられる。
- 一部の学年を除き、新聞と雑誌の利用・活用があまりされなかったため、次年度は雑誌のクラス貸出を習慣化し、新聞の活用方法に関しては改善策が必要である。
- 除籍作業に充てる時間に限りがあるため、次年度は、①パソコンを図書室に移動して入力作業をする、②毎週〇曜日は除籍の日と決めて、集中的に作業に取り組むなど、作業の効率アップを目指すことが大切である。